

在任12年間の歩み

時系列

平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
古代出雲歴史博物館オープン	県立こころの医療センター開院	世界的不況を受けた県内経済の景気後退と 数次にわたる経済対策予算の編成	国道9号益田道路が開通
高速道路ネットワークの着実な延伸	「しまね観光立県条例」の制定と 「山陰文化観光圏」の認定	島根原子力発電所2号機 「プルサーマル計画」事前了解	学習時間選択制高校「宍道高校」が開校
溝口県政スタート、新県議決定	島根総合発展計画の策定	新型インフルエンザの発生、流行	島根原子力発電所の保守管理の不備等に係る 申し入れ及び住民説明会の開催
県立大学の統合・法人化	ふるさと納税（寄附）の導入	「美味しまね認証」制度がスタート	県内空港の活用施策の推進
「石見銀山遺跡」世界遺産登録	加茂岩倉遺跡出土銅鐸が国宝に	第4回食育推進全国大会開催	皇太子殿下が島根県に2度の行啓
島根に新しい風を吹き込んだ 「全国高総文祭しまね'07」	ウラジオストクとの新規航路開設と ロシア貿易の促進	アクアスのシロイルカ出産	県内2地域で市町村合併が決定
がん対策の推進	島根あさひ社会復帰促進センター開庁	政権交代に伴い揺れる公共事業。 山陰自動車道は斐川ICから出雲IC間が開通	島根県初のプロスポーツチーム「島根サノオマジック」誕生
ミュージカル「あいと地球と競売人」 東京公演大成功	水産練習船「わかしまね」の海難事故	大橋川改修事業の実施に鳥取県が同意	高病原性鳥インフルエンザ発生
隠岐地区の大雨と昨年7月豪雨の災害復旧進む	しまね海洋館アクアスのペンギン館オープンと 入館者数500万人達成	「犯罪のない安全で安心なまちづくり推進県民大会」の開催	神々の国しまね～古事記1300年～ 平成24年に向けて本格始動
財政健全化基本方針・しまね産業活性化戦略 策定	道路特定財源問題に揺れた一年	「島根県子ども読書活動推進計画」「島根県立図書館振興計画」の同時策定と 「しまねこども読書活動推進事業」の開始	企業との包括的な連携協定が進む

平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
大雪により県東部を中心に大きな被害	島根原発の防災対策を強化	島根県地域防災計画と防災対策の強化が進む	隠岐航路の超高速船レインボージェット就航
東日本大震災後の対応に全力。 島根原発の防災対策の抜本的な見直しに着手	「島根総合発展計画第2次実施計画」を策定	竹島領土権の早期確立に向け取り組み推進	萩・石見空港東京便2便化
斐伊川・神戸川治水事業が大きく進展	全庁横断のプロジェクトチームによる 中山間地域対策や定住施策の推進	交通基盤整備が進む ～松江自動車道、松江だんだん道路が全線開通～	山陰道・湯里IC～石見福光IC間が開通
溝口県政二期目スタート、新県議決定	社会基盤の整備が進む（松江だんだん道路の部分開通、高速道路の整備促進、尾原ダム完成）	東北との絆、水産練習船「神海丸」の竣工	木材・木質バイオマス加工施設等の建設が進む
「神々の国しまね」プロジェクトが本格スタート	竹島を巡る状況が大きく変化 ～竹島領土権の早期確立に向け取り組み推進～	出雲大社「平成の大遷宮」による県内各地の賑わいと「ご縁の国しまね」観光PRキャンペーンの展開	小・中学校における35人学級編制の拡充（小学校3・4年及び中学校1年に導入）
医療・看護体制の充実（ドクターヘリの運航開始、県立大学短大部看護学科の4年制化決定）	医療・看護体制の充実（県大看護学部にも1期生、隠岐病院新病院開院、松江赤十字病院全館開業）	ドクターヘリの広域連携開始	「ご縁の国しまね」観光PRキャンペーン展開
松江市と東出雲町、出雲市と斐川町が合併。 松江市の特例市への移行が決定	再生可能エネルギーの利活用促進に向けた取り組み開始	斐伊川神戸川治水事業の推進	中国吉林省友好交流20周年記念
島根の自然・文化遺産に高い評価（隠岐ジオパークが世界ジオパーク認定候補地に決定、佐陀神能がユネスコ無形文化遺産に登録）	「神々の国しまね」プロジェクトの推進 ～「神話博しまね」や「県外巡回展」を開催～	県西部を中心とした大雨災害発生	人口対策本部の設置
県人口が717千人に （平成22年国勢調査結果まとまる-進む高齢化、一方で若者たちの大活躍が話題に-）	売れる農産品づくりに向けて、期待の新品種が高評価（米の新品種「つや姫」、あじさいの県オリジナル新品種「万華鏡」）	売れる農産品づくりに向けて期待の新品種 好評価	JR三江線、山陰本線、山口線の全線運転再開
山陰道の全線開通に向け大きく前進（山陰道の未整備3区間の着手が決定・浜田港が日本海側拠点港に選定）	第98回全国図書館大会島根大会を開催	隠岐諸島が世界ジオパークに認定	海外ビジネス展開支援拠点の開設
	7年ぶりに交通事故死者数が増加	古代歴史文化賞の創設、決定と全国への情報発信	福祉医療費助成制度の拡充
		中国電力の島根原発2号機の新規制基準への適合性確認申請を了解	

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
「竹島の日」条例制定10周年	「島根総合発展計画第3次実施計画」等を策定	石見銀山世界遺産登録・古代出雲歴史博物館開館10周年	山陰道「大田朝山IC～大田中央・三瓶山IC間」開通
再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進	有人国境離島に関する特別措置法が成立(隠岐諸島が指定地域に)	「日が沈む聖地出雲」の日本遺産認定	出雲縁結び空港への新規2路線就航
尾道松江線が全線開通、山陰道の2区間が開通	たたら製鉄の日本遺産認定	島根原発1号機の廃止措置に着手	JR三江線廃止・代替交通運行開始
溝口県政3期目スタート、新県議決定	観光振興に新しい取組(山陰インバウンド機構設立、大山隠岐国立公園が国立公園満喫プロジェクトに選定)	若者の活躍(デフリンピック、国民体育大会、全日本合唱コンクールで好成績)	国民健康保険の都道府県単位化
「ご縁の国しまね」プロモーションスタート	こっころパスポート10周年	財政運営指針の策定	松江市・島根県共同設置松江保健所スタート
島根原発1号機の運転終了	全国の高校生が島根に集う(情熱疾走中国総体、食の縁結び甲子園)	萩・石見空港東京線2便運航継続	県西部を震源とする地震及び平成30年7月豪雨による災害
島根県のシジミ漁獲量4年ぶりに全国首位	三江線の鉄道事業廃止の届出	全国大会の開催(全国食生活改善大会、地域伝統芸能全国大会)	教育の質の向上と教員の働き方改革の両立を目指す取組
松江城天守国宝に指定	県立施設(県立美術館、グラントワ、三瓶自然館サヒメル)入館者数が大台に	第71回全国植樹祭開催地の決定	観光の新たな取組
しまねソフト研究開発センター開設	海外との交流(ブラジル島根県人会創立60周年記念式典、ロシア沿岸地方との「友好交流に関する覚書」締結25周年)	「フラワービジネス大賞(育種・生産部門)」受賞	島根原子力発電所をめぐる動き(島根原発3号機の新規制基準適合性審査の申請を了解、県外への住民避難を想定した原子力防災訓練を実施)
まち・ひと・しごと創生島根県総合戦略策定	浜田川総合開発事業第二浜田ダム完成	北朝鮮によるミサイル発射と核実験	島根県オリジナルブランドが躍進(アジサイ「万華鏡」「銀河」、ブドウ「神紅(しんく)」、網漁業「沖獲れ一番」、エビタケ「黄雲(こううん)」)
中海・宍道湖ラムサール条約登録10周年	アジサイ新品種「銀河」が「フラワー・オブ・ザ・イヤー」を受賞	教育の魅力化の拡大	農業産出額730億円(H28年から100億円増)の目標を設定
しまね縁結びサポートセンター設置	山陰道浜田・三隅道路が全線開通		地方大学・地域産業創生交付金の交付対象事業に採択
			溝口知事今限りでの引退を表明